

甲状腺外科草子 67

飛行機嫌いの名機探訪：岩国のベイパーコーン

杉野 圭三

ベイパーコーン(Vapor cone)とは飛行機が音速に近い速度で飛行すると機体前方の空気が圧縮され温度が上昇し、機体後方では逆に空気が急減圧され温度が低下し結露した水蒸気が雲の様に見える現象である。

2023年4月15日、岩国航空基地では4年ぶりに「フレンドシップデー」が開催され、一般市民に基地の公開が行われた。あいにくの雨天にもかかわらず約62,000人が参加した。当日は残念ながら参加できず、代理人が参加し、ベイパーコーンを含む貴重な画像を提供していただいた。雨の中を超望遠レンズ持参の所謂「ミリオタ」が多かったようだが、以下の写真はスマホによるものである。その高性能には驚くばかりである。



離陸する F-35B とそのベイパーコーン

岩国航空基地は1938年(昭和13年)、日本海軍が飛行場を建設したことに始まり、終戦まで飛行予科練習生(予科練)の教育訓練や防空部隊の基地として使用され、海軍兵学校の分校(海軍兵学校 岩国分校)も所在した。



海軍兵学校岩国分校

旧正門

終戦後、基地は米海兵隊に接収されたが、1952年(昭和27年)、日米安全保障条約締結に伴い日米軍基地となり、1957年(昭和32)、基地内に海上自衛隊の部隊(岩国航空教育派遣隊)が新編され、「日米共同使用」の基地となった。



雨の岩国航空基地と第81航空隊の紋章

現在、第31航空群(第71航空隊、第81航空隊)、第111航空隊等の部隊が配置され周辺海域における警戒監視・情報収集、及び飛行艇による洋上における捜索救難活動などに従事している。



手前から F-2, F-15, EP-3



日本が世界に誇る US-2 飛行艇



F-35B



C-2 輸送機

この日、米軍や航空自衛隊の協力で多数の飛行機が集結した。US-2を間近で見ることができず残念至極であった。

参考資料：海上自衛隊岩国航空基地ホームページ

(一甲状腺外科医の徒然なる随想)

2023年6月8日